



給食だより

令和4年1月

草津市学校給食センター

電話 077-563-4380

草津市第二学校給食センター

電話 077-568-5115

1月24日～30日は「全国学校給食週間」です！

日本の学校給食の歴史は、明治22（1889）年に山形県にある小学校で、お弁当を持ってこられない児童に昼食を無料で提供したのが始まりとされています。その後、各地で給食が実施されるようになりますが、戦争などの影響で中断されてしまいました。そして戦後、支援物資による給食再開を記念して設けられたのが、1月24日～30日の「全国学校給食週間」です。草津市でも24日～28日までを学校給食週間としています。



草津市の学校給食の歴史

- ・昭和22年 市内6小学校でミルク給食（脱脂粉乳のみ）の開始。
 - ・昭和33年3月 草津小学校で主食・おかず・牛乳がそろった完全給食開始。（以降、「給食開始」は同様の意味です。）
 - ・昭和34年1月 常盤小学校で給食開始。
 - 5月 笠縫小学校で給食開始。
 - ・昭和35年12月 老上小学校で給食開始。
 - ・昭和36年10月 山田小学校で給食開始。
 - ・昭和38年5月 志津小学校で給食開始。
 - ・昭和44年 脱脂粉乳から牛乳に変更。
 - ・昭和48年4月 草津第二小学校の開校と同時に給食開始。（草津小から配送）
- ※以後、学校開校と同時に給食が開始。
- ・昭和48年9月 学校給食センターでの給食調理開始。
 - ・昭和53年6月 米飯給食（委託炊飯）週1回始まる。
 - ・昭和55年4月 米飯給食 週2回になる。
 - ・昭和63年4月 米飯給食 週3回になる。
 - ・平成2年 中学校給食の廃止。
 - ・平成25年4月 学校給食センターを建て替え、自所炊飯での給食開始。
 - ・令和4年1月 第二学校給食センターで中学校給食再開。

草津市の学校給食の歴史に
新たな1ページが加わります!!

【現在の学校給食の役割】

学校給食は当初、子どもたちの空腹を満たし、栄養を改善するためのものでした。しかし、社会環境の変化とともに、子どもたちを取り巻く環境も大きく変化し、近年では食習慣の乱れや偏った食事による肥満、生活習慣病の増加など、健康状態が心配されるようになりました。そんな中、平成17年に「食育基本法」が制定され、学校給食は食育を推進するための「生きた教材」としての役割も担っています。



朝ごはん、目覚ましスイッチをオン!

頭(脳)の

スイッチ



やる気や集中力を高め、学習能力を向上させる。

体の

スイッチ



元気に活動できるようになり、体力や運動能力を向上させる。

おなかの

スイッチ



胃や腸が動き出し、排便をうながす。